

保健福祉・協働委員会委員長報告

保健福祉・協働委員会における審査の経過並びに結果についてご報告いたします。

本委員会に付託されました案件は、
甲第1号議案 令和7年度 岡山市一般会計補正予算（第7号）について
であります。

この審査に当たりましては、当局の説明を聴取し、慎重に審査いたしました結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

それでは、審査の過程で特に議論となりました点についてご報告いたします。

岡山市一般会計補正予算（第7号）中、民生費のうち、物価高騰対応定額給付金事業についてです。

これは、食料品等の物価高騰の影響下にある市民生活を支援するため、物価高騰対応に係る国庫支出金を活用した現金の給付を行うもので、令和7年1月定例会において可決し、2月中旬から対象世帯への振込開始を予定している同種の給付金事業に1人当たり2千円を追加支給しようとするものです。

この追加支給により、全市民に1人当たり5千円、住民税非課税世帯には1人当たり7千円が支給されることとなります。

追加支給に係る事業費は14億円で、全額が国庫支出金から充当され

るものであります。

委員から、事業実施のスケジュールについて、案内開始の時期も含め、予定どおり事業を進められるのか、また詐欺被害防止など、市ホームページでの情報発信にも努めてほしいが、どのような予定か、との質疑があり、当局から、案内開始は1月27日から通知を順次発送予定であり、スケジュールどおり事業は進めていく。また市ホームページなどの情報発信についても今後取り組んでいくとともに、詐欺被害に遭わないよう注意喚起をしていく所存である、との答弁がありました。

以上、保健福祉・協働委員会の報告を終わらせていただきます。